



平成 22 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 三共理化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 須藤 進
(コード番号：5383)
問合せ先 取締役財務本部長 早川 良和
(TEL. 048-786-2112)

親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

今般、平成 22 年 2 月 9 日付で当社の親会社及び主要株主である筆頭株主の異動が生じることとなりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 異動に至る経緯

フジスター株式会社（以下「フジスター」といいます。）は、平成 21 年 12 月 14 日に当社普通株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を行う旨を公表しました。

本公開買付けは、平成 21 年 12 月 15 日（火曜日）から平成 22 年 2 月 2 日（火曜日）まで実施され、本日、フジスターより本公開買付けを通じて当社普通株式 4,922,290 株を取得した旨の報告がありました。

この結果、フジスターの当社の総株主の議決権の所有割合が 98.30%となりますので、フジスターは当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に該当することになります。また、当社の主要株主である筆頭株主であった株式会社三共理化学研究所（以下「三共理化学研究所」といいます。）は、その保有する全ての当社普通株式について本公開買付けに応募した結果、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当しないこととなります。

なお、本公開買付けの結果の詳細につきましては、本日、別途開示しております「フジスター株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果について」をご参照下さい。

2. 新たに親会社及び主要株主である筆頭株主に該当することとなる株主の概要

① 名 称	フジスター株式会社
② 本 店 所 在 地	埼玉県桶川市泉二丁目 2 番 18 号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 須藤 進
④ 主 な 事 業 内 容	① 株式・有価証券への投資、保有及び運用 ② 上記に付帯する一切の業務事業の内容
⑤ 資 本 金	100 万円

⑥ 設 立 年 月 日	平成 21 年 9 月 11 日
⑦ 事 業 年 度 の 末 日	3 月 31 日
⑧ 連 結 純 資 産	該当事項はありません
⑨ 連 結 総 資 産	該当事項はありません
⑩ 大株主及び持株比率	須藤 進 100%
⑪ 上場会社とフジスターの関係	
資 本 関 係	該当事項はありません
人 的 関 係	フジスターの代表取締役である須藤進が、当社の代表取締役社長を兼務しております。
取 引 関 係	該当事項はありません。
⑫ 上 場 市 場	非上場

3. 主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当しないこととなる株主の概要

① 名 称	株式会社三共理化学研究所
② 本 店 所 在 地	埼玉県さいたま市浦和区上木崎三丁目 1 番 36 号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 金子 芳枝
④ 主 な 事 業 内 容	不動産管理業
⑤ 資 本 金	100 百万円
⑥ 設 立 年 月 日	平成元年 2 月 10 日
⑦ 事 業 年 度 の 末 日	7 月 31 日
⑧ 連 結 純 資 産	該当事項はありません
⑨ 連 結 総 資 産	該当事項はありません
⑩ 上場会社と三共理化学研究所の関係	
資 本 関 係	三共理化学研究所は、当社の発行済株式総数の 25.03% (1,456,180 株) (平成 21 年 9 月 30 日現在) を保有しております。
人 的 関 係	三共理化学研究所の監査役である會田伊左夫は当社の監査役 (常勤) を兼務しております。
取 引 関 係	当社は三共理化学研究所より不動産を賃借しております。
⑪ 上 場 市 場	非上場

3. 異動予定年月日

平成 22 年 2 月 9 日 (本公開買付けの決済の開始日)

4. 異動前後における当該株主等の議決権の数（所有株式数）及びその総株主の議決権の総数に対する割合

(1) フジスター株式会社

	属性	議決権の数	所有株式数	総株主の議決権の 総数に対する割合	大株主順位
異動前	—	一個 (一個)	一株 (一株)	—% (—%)	一位
異動後	親会社	4,922 個 (一個)	4,922,290 株 (一株)	98.30% (—%)	1 位

(2) 株式会社三共理化学研究所

	属性	議決権の数	所有株式数	総株主の議決権の 総数に対する割合	大株主順位
異動前	その他 の関係 会社	1,456 個 (一個)	1,456,180 株 (一株)	29.08% (—%)	1 位
異動後	—	一個 (一個)	一株 (一株)	—% (—%)	一位

(注1) ()内は、間接所有を示し、内数であります。

(注2) 「総株主等の議決権の数に対する割合」は、平成21年11月13日に提出した第57期第2四半期報告書に記載された平成21年9月30日現在の発行済株式総数(5,817,600株)から平成21年9月30日現在の当社が保有する自己株式数(810,572株)を控除した株式数(5,007,028株)に係る議決権の数(5,007個)を分母として計算しております。

(注3) 異動前及び異動後の「総株主の議決権の総数に対する割合」は、小数点以下第三位を四捨五入しております。

5. 今後の見通し

フジスターは、本公開買付けにより、自己株式を除いた全株式を取得できなかったため、当社は、フジスターによる平成21年12月14日公表の「三共理化学株式会社株券等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」に記載のとおり、本公開買付け後、以下の方法により、フジスターを除く当社の株主に対して当社株式の売却機会を提供しつつ、フジスターが当社の発行済株式数(自己株式を除きます。)の全てを所有することになるよう一連の手続き(以下「本手続き」といいます。)を行うことを予定しております。

具体的には、フジスターは、①普通株式とは別個の種類株式を発行できる旨の定款変更を行うことにより、当社を会社法の規定する種類株式発行会社に変更すること、②当社の発行する全ての普通株式に全部取得条項(会社法第108条第1項第7号に規定する事項についての定めをいいます。)を付す旨の定款変更をすること、③当社の当該株式の取得と引換えに当該株式とは別個の種類株式を交付すること、及び上記①ないし③を付議議案に含む臨時株主総会(以下「本株主総会」といいます。)を開催することを当社に対し要請する予定です。また、本手続きを実行するに際しては、本株主総会において上記①のご承認をいただきますと、当社は会社法の規定する種類株式発行会社となりますが、上記②については、会社法第111条第2項第1号に基づき、本株主総会の決議に加えて、株式の内容として全部取得条項が付される当社普通株式を所有する株主を構成員とする種類株主総会(以下「本種類株主総会」といいます。)の決議が必要となります。そのため、フジスターは、当社に対し、本株主総会と同日に本種類株主総会を開催することを要請する予定であり、当社はかかる要請に応じて平成22年3月頃を目途として本株主総

会及び本種類株主総会を開催し、上記各議案を上程する予定です。なお、フジスターは、本株主総会及び本種類株主総会における上記各議案に賛成する予定です。

上記各議案が承認可決された場合、当社の発行する全ての普通株式は全部取得条項が付された上で、全て当社に取得されることとなり、当社の株主には当該取得の対価として当該株式とは別個の種類の本社株式が交付されることとなります。当社の株主に対価として交付されるべき別個の種類の本社株式の数に1株に満たない端数が生じた場合、当該株主に対しては、法令の手続きに従い、当該端数の合計数（合計した数に端数がある場合には当該端数は切り捨てられます。）を売却することによって得られる金銭が交付されることとなります。なお、当該端数の合計数売却の結果、株主に交付されることになる金銭の額については、特段の事情がない限り、本公開買付けの買付価格と同一の価格を基準として算定される予定ですが、本公開買付けの買付価格と異なることもあり得ます。また、当社の全部取得条項が付された当社の全ての発行済株式を所有することとなるよう、フジスターは、当社に、本公開買付けに応募されなかったフジスター以外の当社の株主に対し交付しなければならない当社株式の数が1株に満たない端数となるよう決定することを要請する予定であり、当社はかかる要請に応じて本株主総会を開催し、上記議案を上程する予定です。

本手続きに関連する少数株主の権利保護を目的としたと考えられる会社法上の規定としては、(a)上記②の普通株式に全部取得条項を付す旨の定款変更を行うに際しては、会社法第116条及び第117条その他の関係法令の定めに従って、株主はその有する株式の買取請求を行うことができる旨が定められており、また、(b)上記③の全部取得条項が付された株式の全部取得が株主総会において決議された場合には、会社法第172条その他の関係法令の定めに従って、株主は当該株式の取得の価格の決定の申立てを行うことができる旨が定められております。

フジスターは、本手続きの実行後に、当社を存続会社とし、フジスターを消滅会社とする吸収合併を行うことを予定しております。

なお、上記方法については、関係法令についての当局の解釈等の状況又は公開買付け者以外の当社株主の当社の株式の所有状況その他の状況等によっては、それと同等の効果を有する他の方法を実施する可能性があります。ただし、その場合でもフジスター以外の当社株主に対しては、最終的に金銭を交付する方法により、当社を完全子会社化することを予定しており、この場合に当該当社株主に交付される金銭の額についても、本公開買付けの買付価格に当該各当社株主が保有していた当社の普通株式の数を乗じた価格と同一になるよう算定される予定です。以上の場合における具体的な手続き及び実施時期等については、当社とフジスターとの間で協議の上、決定次第、当社が速やかに公表する予定です。

当社の株式は株式会社ジャスダック証券取引所（以下「ジャスダック証券取引所」といいます。）に上場されていますが、フジスターは当社の発行済株式総数（自己株式を除きます。）の全てをフジスターで所有することを企図しておりますので、これが実施される場合には当社の株式は上場廃止となります。なお、上場廃止後は当社の株式をジャスダック証券取引所において取引することはできません。

6. 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無等

今回の異動により、当社の開示対象となる非上場の親会社等は三共理化学研究所株式会社からフジスターに変更となります。

以 上